

第3回「教師力」向上に関する検討委員会の概要

検討委員会での委員の主な意見

- 1 日 時 平成18年10月19日(木) 15:00~17:00
2 場 所 ホテルルビノ京都堀川

協議事項1 「求められる京都府の教員像」提言(案)について

- 「ふるさと京都」への愛情と理解を深めることが大切。
- 教師の「コミュニケーション能力」は、児童生徒、保護者理解にも大切な要素である。
- 現在の社会情勢では、教育に対する理念・信念を持つことも大切。
- 提言は前向きの姿勢、プラス方向での記述が基本。

協議事項2 「具体的な人材育成方策」提言(案)について

- 子どもと日々接している教員が魅力的であることが必要である。
- 大学生のインターン制度がより実効性のあるものとなっている。
- 教師をほめることが大切。
- 「優秀教職員表彰制度」を広くアピールし、府民の関心を高める。
- 管理職になる教員と、現場で尊敬される(教科指導のマイスター)教員のどちらも学校では大切。
- 管理職は、初任者を含む若手教員の特性に応じて校内でも「人材育成」の方策をもっているべきである。
- 海外研修制度や大学院での研修制度も検討すべきである。
- 府全体で「教員のリーダー」を育てる必要がある。
- 退職世代の活用については、企業人など教育以外の分野からも必要な人材については活用すべきである。
- 教職員評価制度とのリンクも考える必要がある。